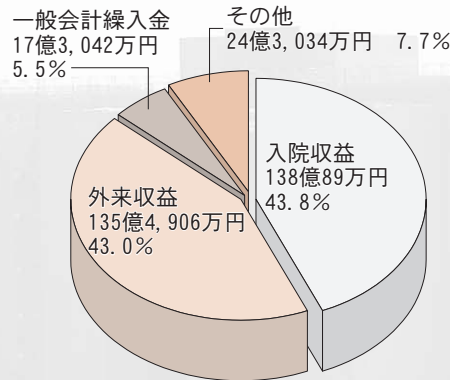
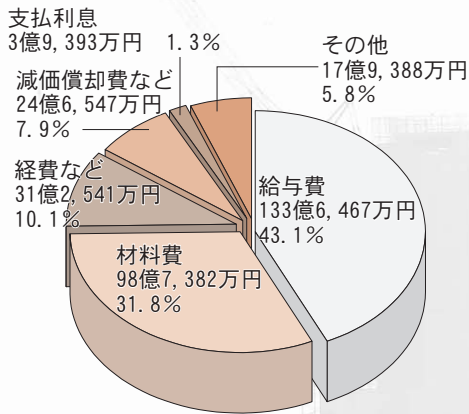


旭中央病院の財政状況

収益的収支

収益的支出 310億1,718万円

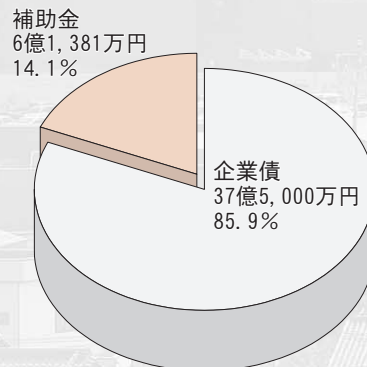
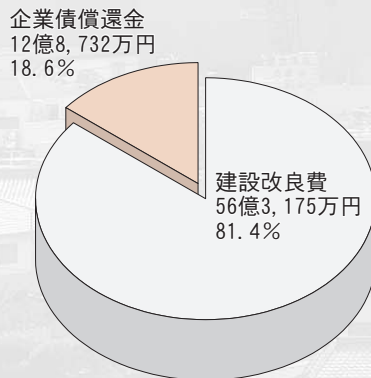
収益的收入 315億1,071万円



資本的収支

資本的支出 69億1,907万円

資本的收入 43億6,381万円



病 院経営などによる収支(収益的収支)は、収入315億

1,071万円、支出310億1,718万円、税引き後利益は、前年度比5、155万円増の4億5,406万円となりました。

収入の内訳は入院収益43・8%(138億89万円)、外来収益43・0%(135億4,906万円)が主なものです。

支出の内訳は、給与費43・1%(133億6,467万円)、材料費31・8%(98億7,382万円)、経費など10・1%(31億2,541万円)と続きます。

また病院施設などの建設・整備にかかる収支(資本的収支)は、収入43億6,381万円、支出69億1,907万円となり、不足分は損益勘定留保資金(減価償却費などの病院事業内の留保資金)から充当しました。支出項目の建設改良費56億3,175万円は、より質の高い医療を提供するために、新棟建設などの再整備事業や器具備品・ソフト開発費などに充てられます。

なお平成22年度も、看護の充実に目指してきた7対1看護を6月より実施できたこと、10年ぶりの診療報酬のプラス改定および交付税の増額などにより、21年度を上回る利益を確保できる見込みです。

再整備事業

昨年1月に工事が始まった新本館建設工事は、9月に最上階(12階)までのコンクリート工事が終了し、旭市のほぼ全域からその姿を見ることができるようになります。

現在、建物内部の配管・配線工事および内装の仕上げ工事が行われています。外壁は仕上げのタイル工事が進み、低層階部分では、既存の建物との調和を図った薄茶色のタイルを見ることができそうです。12月には新棟の全容を確認できる予定です。

平成23年3月末には建物の引き渡しを受け、5月からの診療開始を予定しています。

平成22年度の資金計画については、低金利で長期借入が可能となり、最良の形で借入れとなる見込みです。返済についても、平成22年度当初計画を上回る利益を確保することが見込まれています。

平成23から24年度で、既存建物の改修・解体工事を予定しています。騒音対策など周辺の影響に十分配慮し、行います。

問い合わせ先

旭中央病院事務部

☎ 6318111(代)